

松原運動公園の利用は

前年同期比52%増で推移



質問 高田松原運動公園内の野球場やサッカー場の利用状況はどうか。

答弁 令和4年1月末現在、

前年同期比52%増の4万5千人を超え、幅広い年代に利用されている。

質問 公園のさらなる整備



伊藤 勇一

(碧 い 風)

と工夫が必要ではないか。

答弁 高齢者や障がいのある人など、全ての方が利用しやすいように整備している。車椅子スペースやスロープを配置したほか、子どもの広場、グラウンドゴルフなども可能な多目的広場もある。今後も安心して利用できるように必要な安全対策を講じていく。

市道の整備は

質問 市内の道路整備計画は。

答弁 本市の道路整備プログラムに基づく整備計画により進める。道路や橋梁の現状把握と計画的な修繕などの予防的保全を実施し、長寿命化

と財政負担軽減および平準化に努める。

質問 道路パトロールなどの情報共有は。

答弁 受託者による週2回の道路パトロールを実施。国道や県道の異常については、それぞれの管理者に連絡し対応をお願いしている。今後も安全な道路環境維持のため、国県と道路状況の情報共有を速やかに行い、早急な対応につながるよう連絡を密にする。

新年度予算は

質問 歳入確保策は。

答弁 令和4年度の地方交付税は約54億7千万円、震災復興特別交付税は約8億7千



高田松原第一球場（高田町）

万円、過疎対策事業債は約5億円の予算を計上。今後も市税などの歳入の確保に最大限努める。過疎債などの地方債の借入は将来的な負担を見据え、総合的な判断をする。

日本遺産の活用いかに

魅力発信と交流人口拡大に



質問 令和元年に本市と平泉町をはじめ、宮城県の涌谷町、気仙沼市、南三陸町の2市3町による「みちのくGOLD浪漫―黄金の国ジパング、産金はじまりの地をたどる―」が日本遺産に認定されている。本市の所管部署は。

答弁 有形・無形の文化財群の活用や情報発信については観光交流課が担当し、文化財の指定や保存については教育委員会が担っている。

質問 本市で認定された12点の構成文化財のうち、未指定となっている11点への考えは。

答弁 文化財基礎調査と日本遺産の物語となるストーリー

交流人口の拡大につなげるため、竹駒地区をはじめ各種団体と連携を図りながら取り組みを進めたい。

GIGAスクールは

質問 児童生徒が情報端末機器を活用し、その有効性を高めるための指導状況はどうか。

答弁 指導主事が学校に出



本市も日本遺産に認定



中野 貴徳

(翔 成)

しを構成する文化財調査について調整し、「みちのくGOLD浪漫」に係るストーリーの充実に努める。

質問 日本遺産の本市ストーリーで中心となる玉山金山の活用の見通しは。

答弁 玉山金山遺跡の活用を中心に「みちのくGOLD浪漫」全体の魅力を発信し、

向き、児童生徒の興味や関心を高める方法のほか、互いの考えを共有して話し合いなどに活用する方法について教職員の研修会を行い、ICT活用能力の強化を図っている。

質問 在宅授業も可能な仕組みとなるGIGAスクール構想だが、本市の現状は。

答弁 学校の臨時休業等で

金は防災集団移転促進事業による土地売却収入分が約13億円となっている。

質問 事業清算とともに発生する国庫への返還金はどうか。

答弁 清算手続きを行う予定の主な事業は、土地区画整理事業などの国土交通省所管事業で、復興交付金事業の中でも事業費が大きいことから、事業清算による国庫返還金は数十億円規模となるものと試算している。震災復興特別交付税についても、令和4年度以降において国庫への返還が生じるものと考えている

総合戦略どう進める

質問 第2期総合戦略の重



財政運営は？

視する視点は何か。

答弁 SDGsの推進、Society（ソサエティ）5・0（テクノロジーを活用した社会の仕組みづくり）の実現に向けた技術の活用、地域全体を見渡した地域マネジメントの推進を掲げ、施策を推進することとしている。

復興事業清算の返還金は

国庫に数十億円規模と試算



質問 本市の財政状況を表す指数で、高くなると財源に余裕がないことを示す経常収支比率の現状はどうか。

答弁 令和2年度決算における経常収支比率は、令和元年度に比べ0・1ポイント増の94・5%となった。県内14



大坂 俊

(翔 成)

質問 財政調整基金に含まれる国庫返還金はどうか。

答弁 財政調整基金の令和3年度末残高は約84億円となる見込みで、そのうちの返還